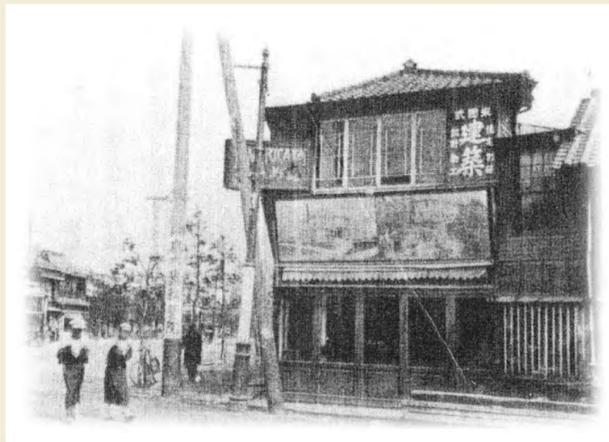


あめりか屋

橋口信助の物語
芝の建築設計家具装飾請負人



あめりか屋社屋（『The Architectural Desecration of Tokyo』[THE AMERICAN ARCHITECT] 1917年10月号）
住まい学大系（006）あめりか屋商品住宅—「洋風住宅」開拓史 内田青蔵著 住まいの図書館出版局 所収

口の言葉による）別荘住宅を30余戸建築しました(註7)。今も現存している別荘もあるようです。

琴平町にあった「あめりか屋」の建物は、木造2階建、延べ100坪あり、1階の半分が展示場、その奥が工場、2階が建築設計部になっていました(註8)。「あめりか屋」発足当時は家具部の店員6名、職人10名と、塗装部2名を含めた建築部5名とし、両部門独立採算制で、アメリカから帰国した北村金吾を家具部のトップにした陣容でした。そこに集まった職人達は技を競い合い格調高い作品を生み出していたとい



われています(註9)。また明治44年(1911)「婦人之友」9月号に掲載された「あめりか屋」の広告に「あめりか屋製家具は完全乾燥材料を用い高麗便利且つ堅牢を保証す」と書き、同広告に出ている特許出願中の自作の「共同腰掛安全ブランコ」は大正3年(1914)に「皇太子殿下・梨木姫宮殿下御使用ノ光栄」を受けたとのこと(註10)。橋口の「あめりか屋」は大正時代に全盛期を迎えましたが、昭和3年に橋口が病没後、建築部はその関係者によって引き継がれ、家具部はまもなく北村金吾に率いられて芝巴町に移り、建築部と分離しました。北村亡き後も北村夫人によって昭和16年(1941)まで続けられましたが、第二次世界大戦の開戦前に敵国の名を名乗るのはいかなものかと北村商店と名を変え、終戦を迎えて幕を閉じたと伝えられています(註11)。

さて冒頭の細君募集の張り紙の話を戻りますが、橋口信助は大正11年(1922)9月に再婚しています。ショウ・ウィンドウの張り紙を見て応募した人の中から選ばれたと当時うわさされていたようですが、今では確たる証拠はありません(註12)。

あめりか屋広告「婦人之友」明治44年9月号 5巻4号 p122 所収

- 註1 内田 青蔵著 解題 p17 雑誌「住宅」[復刻版] 第1巻 柏書房
- 依 元昭編 「芝家具の百年史」p537 東京都芝家具工商協同組合
- 橋口 信助著 「中等の洋風住宅」p78 「婦人之友」5巻4号所収
- 註2 内田 青蔵著 「あめりか屋商品住宅」p14-30、p60 住まいの図書館出版局
- 註3 笑 景子 「最も安値に洋風小庭園を作ること」p27 「建築雑誌」251号 日本建築学会 雑誌 p34 「建築雑誌」268号 日本建築学会 雑誌 p53-p57 「建築雑誌」270号
- 註4 内田 青蔵編・山本 拙郎著 「拙先生絵日記」p196 住まいの図書館出版局
- 村松 貞次郎著 「日本近代建築の歴史」p61 岩波現代文庫
- 註5 橋口 信助著 「住宅を新築する人々に」p439-440 雑誌「住宅」[復刻版] 第1巻 柏書房
- 橋口 信助著 「新旧住宅の長短」p90-91 雑誌「住宅」[復刻版] 第1巻 柏書房
- 橋口 信助著 「中等の洋風住宅」p75-78 「婦人之友」5巻4号所収
- 註6 穴戸 實香 「軽井沢別荘史」p151-155 住まいの図書館出版局
- 内田 青蔵著 前掲書 p115-119 住まいの図書館出版局
- 註7 橋口 信助著 「避暑の新意義を説きて軽井沢の天地を推挙す」p343 雑誌「住宅」[復刻版] 柏書房
- 註8 依 元昭編 前掲書 p536
- 註9 依 元昭編 前掲書 p538
- 註10 内田 青蔵著 前掲書 p50 住まいの図書館出版局
- 註11 依 元昭編 前掲書 p539
- 内田 青蔵著 前掲書 p60 雑誌「住宅」[復刻版] 第1巻 柏書房
- 註12 依 元昭編 前掲書 p537

*その他、内田青蔵先生の「あめりか屋」に関する諸著作を参考とさせていただきます。

※2×4(ツー・バイ・フォー)：断面が2×4インチの木材の枠組みに合板を打ち付けて、それを組み立てる建築方式

一氏の外国人向け賃貸住宅として建てられました。建坪25坪、費用約2,800円、工事日数75日でした。12月の日本建築学会発行の「建築雑誌」には「純米国式木造住宅建築東京に建築せられる」と記事があります。その頃、住宅の洋風化について、和風住宅と西洋館を同一敷地に建てたらよいとか、皇室の東宮御所の造りも和洋折衷であるとか、地震・火事のためには石造りの洋風住宅がよいとか、洋風の庭をどう造るとか、外国と日本のために雑誌「住宅」を発行し、高級洋家具の製作・販売をも手掛けた。明治に生まれアメリカに渡り、帰国後に芝区琴平町1番地(現虎ノ門1丁目2、虎ノ門交差点角のみずほ銀行)にあめりか屋を創業し、昭和3年(1928)まで歴史の中を駆け抜けた明治の男の物語です(註1)。

橋口信助は明治3年(1870)岡崎県日向杉の材木業を家業とする長男に生まれ、上京して東京商業学校に入学しますが、6ヵ月を経ず故郷に戻ったようです。24才で結婚しましたがその後事業が立ち行かず、明治の男らしく飛躍を志し、明治34年(1901)に31才で単身米国シアトルに渡りました。シアトルの製材所で働き、ハウス・ボーイ(書生)等で苦勞をしましたが、後に洋服の仕立て屋で成功を収めました。故郷での林業にないシアトルの地場産業の米松伐採業に乗り出そうと試みましたが頓挫しています。そこで彼は店をたたみ、ビジネスカレッジで建築学を勉強しました。そして、当時のアメリカで普及してきた家のカタログ通信販売、2×4の組み立て(プレハブ)住宅を6棟、他の建材等を併せて買い込み、明治42年(1909)2月に39才で帰国しました。帰国の翌年故郷で結婚した妻を亡くしています(註2)。

帰国後の橋口の動きは速いものでした。明治43年(1910)2月に日本建築学会の准員となっています。同年11月橋口が持ち込んだ2×4組み立て住宅は、赤坂新坂町(現赤坂8丁目)に藤倉五

「細君募集 あめりか屋 橋口信助」。芝家具職人達がお店のショウ・ウィンドウにこのような張り紙をしたといわれる伝説の建築設計家具装飾請負人がいました。彼の名は橋口信助。明治時代にアメリカから2×4(ツー・バイ・フォー)の組み立て住宅を輸入し、さらに洋風住宅を自社設計で建築し、後に別荘建築の先駆けとして軽井沢にバンガロー住宅を造りました。他方、家の中で育児、団らん等の生活が営まれていることを重視する近代的考え方の普及のために雑誌「住宅」を発行し、高級洋家具の製作・販売をも手掛けた。明治に生まれアメリカに渡り、帰国後に芝区琴平町1番地(現虎ノ門1丁目2、虎ノ門交差点角のみずほ銀行)にあめりか屋を創業し、昭和3年(1928)まで歴史の中を駆け抜けた明治の男の物語です(註1)。

橋口信助は明治3年(1870)岡崎県日向杉の材木業を家業とする長男に生まれ、上京して東京商業学校に入学しますが、6ヵ月を経ず故郷に戻ったようです。24才で結婚しましたがその後事業が立ち行かず、明治の男らしく飛躍を志し、明治34年(1901)に31才で単身米国シアトルに渡りました。シアトルの製材所で働き、ハウス・ボーイ(書生)等で苦勞をしましたが、後に洋服の仕立て屋で成功を収めました。故郷での林業にないシアトルの地場産業の米松伐採業に乗り出そうと試みましたが頓挫しています。そこで彼は店をたたみ、ビジネスカレッジで建築学を勉強しました。そして、当時のアメリカで普及してきた家のカタログ通信販売、2×4の組み立て(プレハブ)住宅を6棟、他の建材等を併せて買い込み、明治42年(1909)2月に39才で帰国しました。帰国の翌年故郷で結婚した妻を亡くしています(註2)。

される日本の伝統と深い美意識が一服のお茶に投影されるようです。かの魯山人は「器は料理の意匠」と言いました。とりわけ織部焼は、その大胆な不均衡が自然そのものの描写と言われています。このあたりの美意識は、完璧な左右対称の美を好む、西洋とは大きく異なる日本独自のものなのでしょう。

移ろいゆく自然に、とりわけ上上の美を感じた日本人の感性は、ほぼ生活のすべてに季節感が強く表れています。和菓子、雪見酒、借景の手法など、生活全般にわたって季節感を投影させ、一匹の虫の鳴き声に、紅葉が表裏と地に舞い降りる様に、霜柱や雪が、あけびを半分くらい覆い尽くす様に、これほどの美を感じてしまうのは日本独特の美意識といえます。茶道の大成者、千利休は、極限まで侘び寂びを追求しました。お茶室では、五感のすべてが研ぎ澄まされていきます。同時に自分の内面も見つめなおし、お茶室を出た後は、心が穏やかになっていくようです。

冬的美を発見したのは、確か道元でした。春や秋は誰もが感じる美がそこにあります。冬的美は侘び寂びにも通じるところがあるのでしょう。古の歌人が詠んだ「見渡せば 花も紅葉もなかりけり 浦のたまの秋の夕暮」、この一首も冬的美といえるのでしょう。晩秋の寂びれた浜に、花も紅葉もあろうはずもないのに、そこに何かを感じさせる、これこそ茶の心だと、珠光(註3)も紹隱(註4)も、そして利休も考えました。極めて簡素な造りの茶室ですが、心の眼で見ることの大切さを教えてください。

今回の取材では、茶の湯は総合芸術だと改めて感じ入りました。あふれる色彩、騒音、情報に日々埋もれていく中で、茶室のみが敬静寂を感じさせます。近代の数寄者たちもこぞって茶に没頭し、ひと財産つぎこむことも稀ではありませんでした。自分たちの身近に素晴らしい伝統文化があることは幸いです。

【文】小知和 千佳子／写真】張蘭 光輝

- 註1 数寄屋：茶室・勝手・水屋などが一棟に備わった建物
- 註2 躰 しい：茶室の手水鉢(ちようずばち)
- 註3 珠 光：村田珠光、室町時代の茶人。花茶(わび茶)の祖といわれる
- 註4 紹 隱：武野燭園、室町後期の茶人。花茶の骨格を作り、千利休に伝えた

info 大橋茶寮 虎ノ門5-6-6



大橋宗乃様にて如庵写しの茶室にてお茶を感していただきました。

ばしばハイテク現代社会において蔑ろにされがちですが、行政と地域住民が一体となって、次世代に継承していきたいものです。特に、このたび、いくつもの貴重なお茶室を拝見させて頂くに及び、日本独自の世界に類を見ないこの豊かな茶の湯文化を維持継承していくことの重要性を再認識しました。

建物内には、国宝織田有楽斎の茶室如庵の写しや、桂離宮松琴亭の写しなど、多様な美意識が根付いており、たおやかな時の流れを感じることができます。後屋宗達や狩野派の屏風も美しく調和しています。これらの茶室を使いながら、美しく保ち続けるのは並大抵のことではありません。塀で路地を囲うにも、高層ビルが視界に入るのはいやほいや避けられません。

それでも都心の喧騒がずっと消え去り、異次元の空間を演出できるのは茶室において他にないと感じます。時間に追われがちな現代社会にあつてこそ、茶室の持つ深い精神性にしばし身を置き、わが身を顧みる縁としたいものです。

垣間見た茶の湯の世界

和敬静寂の境地とはこのような世界なのでしょう。庭の躰い(註2)や石の絶妙な配置、淡くもれてくる冬の消え入るような光、お軸の墨蹟、一輪の椿、お濃茶の品格、これら全てが美しい織物となり、総合芸術として茶の湯に大成されます。無言で交わされる視線の妙、一期一会の精神も生きてくるように思います。それこそ戦場から鎧を脱いで馳せ参じた、戦国武将たちの真剣勝負の場でもあったことが想起されます。

名高い窯元の器や、花器に表



市松模様様の美しい桂離宮松琴亭の写し

info 大橋茶寮 虎ノ門5-6-6

だけが戻ってきた貴重なものです」ということでした。

地域の人々と

神仏参りとレクリエーションを兼ねた「江戸三十三所観音参り」は「観音講」と呼ばれ、江戸時代から行われてきました。天徳寺はその二十番札所になっており、20年ほど前までは、この「観音講」をする人も多く見られました。また、大晦日には地域の人々が集まり、鐘楼に置いてあった鐘を特別につるし、除夜の鐘をついたとのことです。その頃は住民も多く、108の整理券「松・竹・梅」の3種を出したので、300人以上の人々が参加し盛況だったそうです。

文久2年(1862)の古地図では、広大な敷地を有していた天徳寺も、今は高層ビルに囲まれ、かなり縮小されています。何回もの火災、関東大震災、大規模な開発など数々の困難を乗り越えてきたのには、周りの者にはわからない苦勞と決断があったことでしょう。長い歴史と新しいものが混在する芝地区を象徴する空間のような気がしました。

- 参考文献：『復元 江戸情報地図』(吉原健一郎ほか編 朝日新聞社 1994)
- 『探訪 江戸大名旗本の墓』(河原崎晴海 毎日新聞社 1993)
- 『港区文化財のしおり 区指定・登録文化財編』(港区教育委員会 2005)
- 『港区史』上巻(港区役所 昭和35年)

info 天徳寺 虎ノ門3-13-6

あり、尾張、越前侯をはじめ、十二諸侯の菩提寺で、「松平家之墓」、「大給家累代之墓」、「竹腰家之墓」も残っており、幕末の安政6年(1859)には、ロシア使節ムラヴィヨフとの談判場になりました。

指定文化財

梵字の阿弥陀仏を異字体で表した文字が記された「弥陀種子板碑」は、区指定の文化財で、境内にひっそりと立っています。永仁6年(1298)の文字が見え、700年以上前のもんということがわかります。この寺のもうひとつの指定文化財は、15世紀以前の作品とされている「阿弥陀三尊図」。これは残念ながら非公開です。

新しい建物

境内には昔からのものばかりではなく、平成17年(2005)に完成した八角二層の本堂が、雌雄2本のモチノキの奥に建っています。二層の屋根は徳川家と同じ菱の紋瓦でふちどられ、八角形先の鬼瓦の鬼が口を開けて、こちらを見下ろしています。

平成19年(2007)には鐘楼も新しくなりました(写真)。ここに収まっている鐘は、寛永12年(1635)7月8日に鑄造されたと「梵鐘拓影集成」に記録されています。

住職のお話によると「江戸期に鑄造された鐘の中で23区に残っている最古のものです。第二次世界大戦のときは一時間に接収されたものの、このあたりではこの鐘



新しくなった鐘楼と歴史ある鐘

緑豊かで静かな空気が流れる場所

てんとくじ

天徳寺



八角二層本堂(平成17年5月本堂落慶記念/パンフレットより)

桜田通りから愛宕トンネルに向かってトンネルの手前を右に曲がると、右手に黒の板塀が見えます。その奥が天徳寺、緑豊かで静かな空気が流れています。

500年近い歴史

正式名は「光明山和合院天徳寺」。天文2年(1533)に江戸城内の紅葉山に開かれ、慶長16年(1611)に現在の場所に移ったと伝えられています。十三の末寺が

大人のホビーを提案するニュースポット! プラモデルファクトリー

サラリーマンの街・新橋に、一風変わったお店が登場しました。近年では珍しいプラモデルの専門店、「タミヤ プラモデルファクトリー 新橋店」です。お店のストアマネージャー、半谷孝道さんにお話を伺いました。



店舗外観

落ち着いた雰囲気の内には模型がいくつも展示されていて、あまりの細かい色使いや緻密な描写に驚いて見とれてしまいました。車・飛行機・艦船などが縮小されたスケールモデルや、組み立てキット、製作の工具、各パーツが所狭しと並んでいます。来店客は20〜80歳代と幅広い層の人々です。年代物の戦車模型もたくさんあり、なかには戦争を体験されたご高齢の方もいらっしやうそうです。

RCカー(ラジオコントロールカー：無線で操作する車の模型)の部品コーナーには、少しずつサイズの違った部品をたくさん取り揃えています。一見同じものに見えてしましますが、1mm違うだけでも走行特性が違ってくるそうです。これをじっくり選ぶのも、楽しみのひとつになります。自分で作るのが趣味という人が多いのですが、最近では塗装スプレ

ーが使えないなどの住宅事情もあり、完成品の需要もあるそうです。壊れたパーツも自分で直すのが模型の醍醐味です。まるで自身がレースチームの一員のような感覚が味わえるのです。

ミニ四駆コーナーでは、組み立てキットをたくさん取り揃えています。今から20年位前、夕方に放送していたミニ四駆の人気番組をご存じでしょうか? 子どもたちが自分で作ったミニ四駆のスピードをF1レースさながらに競い合うという内容でした。改造した、世界に一つだけの自分のミニ四駆には、愛着がわいてくるものです。その影響もあって、こちらは20〜30歳代のファンが多いそうです。現在は、自分の工夫を活かしたものの作り込みと競技の面白さで、イベントとして海外でもレースが行われています。家族で参加するファンも多いので

すが、子どもよりも、お父さんのほうが真剣になってしまうという場面もしばしばあるようです。

2階には自分のミニ四駆を走らせることができるサーキットがあり、土日は家族連れやカップルでにぎわいます。かつては専門的な印象だったプラモデルも最近ではホビーとして扱われ、女性客も多くなってきています。女性はもともと手芸などの趣味を持ち手先が器用な人も多く、一度始めたら奥の深さにはまってしまうのかもれません。

今回、戦車のRCモデルを体験しました。本格的なエンジンの再現音と、それに合わせた動きが本当にすごいです。車体のパーツは緻密な設計に基づいて作られており、色も本物同様の彩色です。もはや実物と違うのは大きさだけではない? と思ってしまうかもしれません。プラモデルは子どもの遊ぶモノというイメージでしたが、ここは芸術品の宝庫でした。大人のホビーを提案する新橋の新たな顔をご紹介します。

【文】小林 真紀子

タミヤ プラモデルファクトリー 新橋店
新橋4-7-2 6東洋海産ビル
TEL 03-6809-1175

●営業時間 平日 12時〜22時/土・日・祝日 10時〜18時



1階部分です。多くのプラモデルが並んだディスプレイが目を引きま



2階のサーキットです。土日は親子連れでにぎわいます(コース設置が無い期間もあります)



建物自体を一本の大木に見立てデザインされた長谷川グリーンビル(写真左手のビル)

ビルの壁面をおおう“緑のアート”〜『長谷川グリーンビル』のご紹介〜

東京タワーの向かい側の坂の頂上付近に、美しい緑に覆われた建物が登場しました。近年、環境への配慮から建物の屋上・壁面緑化をする企業が増えています。この『長谷川グリーンビル』の壁面緑化はまるで建物の壁面全部が巨大な緑の芸術的なデザイン性の高さです。

芝公園をはじめ、芝地区は緑豊かな地域です。建物自体を一本の大木に見立てデザインされたこの長谷川グリーンビルの壁面は、通りかかる人々の視線を集めています。

1階にあるハセガワフローリストは、虎ノ門で80年以上花屋を営んできた老舗です。

今回、芝公園に移転することになり、緑に関係する仕事柄と環境啓発を意識し、建物全体を緑化したものです。緑化するならば通る人に振り返ってもらえるようなものにしたという思いで、丹下都市建築設計のデザインによる現在の壁面が完成しました。このようにデザイン性を持たせた壁面緑化というのは珍しく、多方面から注目されているようです。夜間は壁面と店舗部分がLEDライトによって、ライトアップされます。

壁面緑化に使用している植物は、落葉しない種類を選んでいます。現在この壁面には、ヘデラやオウゴンカズラ、ヒューケラなどが使用されています。今後はビルの

環2(地下トンネル部)広報センターが開設

「未完のマッカーサー道路」と呼ばれていた環状第二号線(環2)の新橋・虎ノ門間のうち、地下トンネル部の道路工事が始まっています。平成21年(2009)11月、東京都第一建設事務所は、この区間の地下トンネル整備に関する施工手順、工事予定、工事状況及び環2の事業概要など様々な情報を発信する広報センターを環2沿いに開設しました。

環状第二号線は、昭和21年(1946)3月、新橋・神田佐久間町間の延長約9.2km、道路幅員100mで都市計画決定されました。4年後に幅員40mに変更され、その後、平成5年(1993)に湾岸道路に接した有明から神田佐久間町までの総延長約14kmに、かつ平成10年(1998)に新橋・虎ノ門間を地上部道路、本線は地下トンネルに変更計画されました。なかでも特筆すべきは、平成元年(1989)6月に、立体道路制度(※)が創設され、地下トンネル上下に建物が建てられるようになったことでした。

新橋・虎ノ門地区の環2は、全体計画図の虎ノ門JTビル前①の外堀通りに交差する地点から、地上部道路で桜田通り②を通過し、虎ノ門街③から地下トンネルへ。本線の地下トンネルは建設予定の超高層ビル④の地下(立体道路)を抜け新橋ランプ⑤で地上に出て第一京浜(国道15号)⑥と交差し、再び地下トンネルで汐留方面⑦につながります。一方、虎ノ

環状第2号線(地下トンネル部) 広報センター
西新橋2-18-7
TEL 03-3438-4348
●開館時間 平日 9時〜12時、13時〜17時

門街で途切れた地上部道路は、愛宕通りから第一京浜まで、地下トンネルの上を幅員40mの道路が続きます。

世界の大都市のひとつ、東京の新橋・虎ノ門に再開発事業によって新しく造られる環2地上部道路が、この地区を活性化し、景観に留意した緑の多い、かつ人にやさしい地域道路となるように、環2地区再開発協議会(青木雅文会長)、新橋地区の近隣町会長、環2号線新橋地区環境・まちづくり協議会(西村春夫会長)、東京都再開発事務所、東京都第一建設事務所等と協議を重ねています。

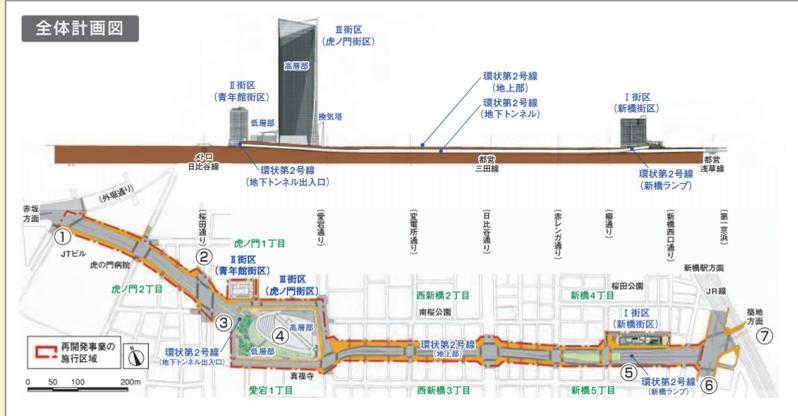
工事完了は平成26年(2014)3月(平成25年度内)を予定しています。この環2(地下トンネル部)広報センターには、環2道路の完成模型がありますので、変わりゆく新橋・虎ノ門の未来を、ぜひ完成より一足先に視覚的に楽しんでください。

【文】森 明

※ 立体道路制度：土地利用の合理化を図るために、道路の区域を立体的に定め道路上下に建築物を建築できるようにして、建物と道路の一体的整備を可能にする制度
参照：環状第二号線新橋・虎ノ門地区事業概要2009



図 東京都都市整備局再開発事務所所有



●撮影：堀内広治

ビル正面のデザイン



ハセガワフローリスト
芝公園3-5-12
長谷川グリーンビル

SiBA Review. 洋菓子始め

芝ビュ

子どもに喜びを

森永製菓株式会社創業者・森永太郎に思いをさせて…

芝5丁目にある森永製菓の本社。その創業者・森永太郎のチャレンジストーリーです。

◆文明開化とともに、日本には酪に代わる牛乳、バター、卵を使った舶来菓子が入ってきたが、多くの人にとってそれは高嶺の花だった。森永製菓の創業者 森永太郎(写真)は、渡米時に見知らぬ婦人からもらったキャラメルに、「これだ」と感銘を受けた。「日本の貧しい子どもにできる菓子づくりを学んで帰ろう」

一粒のキャラメルが、太郎の運命を大きく変えた。

西洋菓子師 森永太郎氏

◆後年、菓子王と称される森永太郎は、慶応元年(1865)に佐賀県・伊万里に生まれた。幼少期に父と死別、家は傾き、母と離別して他家を転々とし、頭を上げて食事をした覚えがなかった。伯父の山崎文左衛門が生きる術の商いを太郎に教えた。それは、「一つ、良質・正当な品を扱う、二つ、売れ行きに関わらず値は変えず目先の儲けを追わない、三つ、売れるものを大きく伝え、今日より10年先をみて地道に」ということだった。

◆12歳から行商を始め、15歳で陶器店に奉公し、貿易を夢に見て横浜に出たものの店は倒産し渡米を決意した。明治21年(1888)7月、太郎は父を慕う娘の泣き声の背にサンフランシスコに向かった。しかし、米国での陶器の商いは失敗した。無一文となった太郎は、見知らぬ婦人からもらったキャラメルに大きな感銘を受け、日本で売る



命を大きく変えた。

◆後年、菓子王と称される森永太郎は、慶応元年(1865)に佐賀県・伊万里に生まれた。幼少期に父と死別、家は傾き、母と離別して他家を転々とし、頭を上げて食事をした覚えがなかった。伯父の山崎文左衛門が生きる術の商いを太郎に教えた。それは、「一つ、良質・正当な品を扱う、二つ、売れ行きに関わらず値は変えず目先の儲けを追わない、三つ、売れるものを大きく伝え、今日より10年先をみて地道に」ということだった。

◆12歳から行商を始め、15歳で陶器店に奉公し、貿易を夢に見て横浜に出たものの店は倒産し渡米を決意した。明治21年(1888)7月、太郎は父を慕う娘の泣き声の背にサンフランシスコに向かった。しかし、米国での陶器の商いは失敗した。無一文となった太郎は、見知らぬ婦人からもらったキャラメルに大きな感銘を受け、日本で売る

うと決意を胸に抱いた。さっそく菓子工場を探すが、厳しい人種差別の中、思うようにはいかず、食うための日々が心荒れ、酒に逃がれようとするのを救ったのが教会であった。熱心なキリスト教信者になり、伝道を志して一時帰国した太郎に対して、「菓子づくりを学ぶ決心が緩んだ」と伯父は厳しく諭した。

◆再び決心し3か月後に再渡米した太郎にとって、血洗ひ、掃除、下働きも菓子職人になる喜びへと変わり、8年は瞬く間であった。明治32年(1899)8月、太郎は赤坂溜池に「森永西洋菓子製造所」の看板を掲げた。外から幾種類もの菓子が見えるよう工夫したガラス箱車を押して東京市内で卸し先を探した。しかし、2か月間、最も自信のあった「マシュマロ(天使の糧)」さえも売れなかった。初注文は京橋中の橋の「青柳」であった。その時の喜びを、後日事ごとに語っていたという。太郎のその腕は次第に知り渡り、西久保、芝の壺屋、久保伊豆屋、三田豊前屋、飯倉風月堂、京橋大住風月堂総本店、銀座亀屋、本郷青木堂と老舗店が洋菓子屋を並べてくれた。20世紀最初の年の天皇への新年献上菓子の栄を受けるが、その喜びを一番に伝えたかった伯父は、すでにこの世の人ではなくなっていた。

◆孤独、貧困、差別、苦境を克服したが、時代は第一次世界大戦、関東大震災、世界恐慌と嵐の中で太郎の夢も木の葉のように揺れた。そのような苦境の中でも太郎は「神がくれた試練」と、苦難に立ち向かったという。太郎は昭和12年(1937)に亡くなったが、「子どもに喜びを」という願いを自ら描いた。天使が翼を広げた森永エンゼル・マークは、2坪の工場を飛び出して赤坂田町、芝田町に移り、今も変わらずに世界中に喜びを運び続けている。

(敬称略)

【文】佐藤 剛志

写真提供：森永製菓株式会社

参考図書：『森永製菓100年史』(森永製菓編、発行)、『菓商-小森永太郎』(若山三郎著)、『大-一部物語-森永太郎』(北川二著)、『電報録』(森永太郎著)他。



輸出向けポスター：第一次世界大戦を機に輸出された森永ビスケットの南方向けポスター

森永製菓株式会社
芝5-33-1 (本社)

大使館で取材した郷土料理 ⑦

オーストラリア 「スモークトラウトのディップ」 Smoked Trout Dip

前号のオーストラリア大使館紹介に続き、今回はオーストラリア料理のレシピをご紹介します。

イギリスからの移民国として誕生したオーストラリアは、本国イギリスのように、フィッシュ アンド チップス(魚とポテトのフライで、イギリスの大衆的なファストフード)やミートパイに代表されるような庶民料理や、アウトドアでも調理が簡単なバーベキュー料理が主流でした。

今回ご紹介するのは、そんなバーベキューにうってつけのクリーム状のソースディップです。ニジマスをつんだんに使った濃厚な味はシーフードバーベキューにもぴったりな相性です。ご家庭でも簡単に調理できますので、ぜひトライしてみてください!

【文】小知和 千佳子



【参考サイト】シティウェーブ 女性・OL向けのお得な情報サイト(シティウェーブ公式サイト)内の「味の素ワールド グルメレポート」より「スモークトラウトのディップ」http://www.citywave.com/ajinomoto/2004/0324/recipe4/index.shtml



【材料】(1カップ分)

- スモークトラウト(ニジマスの薫製)※ - 120g
- バター - 大さじ4
- 白ワイン - 1/2カップ
- サワークリーム - 大さじ2
- マヨネーズ - 大さじ2
- レモン汁 - 小さじ1
- ワサビ - 少々
- 塩・こしょう - 少々

※スモークトラウトの代わりに、スモークサーモンでも可。

【作り方】

- ① フライパンを熱してバターを溶かし、スモークトラウトを炒めます。白ワインを注ぎ入れ、汁気がなくなるまで蒸し煮します。
- ② ①をボールに入れ、すりこぎでつぶして細かくほぐします。
- ③ 冷めたらサワークリーム、マヨネーズ、レモン汁、ワサビを加えて混ぜ、塩・こしょうで味を調えればでき上がり!



toita women's college

ぼくのがぞく5

芝次郎か

しばまっ 芝松

芝松おじさんは昔、学校の今は「せいかい」のどうぶつと仲よく暮らすための講演をしたら、この作者さんになったりしています。

えほんありがとう

はい

おとうさん

おとうさん

今は外国に住んでいて、あまり会えないけど、おとうさん

あいつは俺と違って昔から器用だったからラジオリン

もくもく

ミニアリアス

芸達者

eco design ※ しばまっが作成

明治初めの風景である。東京市芝区増上寺の裏山は古木うっそうとして深山のようで、紅葉坂を上ると金地院(江戸初期創建)、久松邸(後に海軍水交社、戦後はメソニックビルとなる)がある。この付近は江戸時代、徳川二代将軍秀忠が城内の楓山から金地院内に多数の楓を根分けして移し植えたことから、後に紅葉山と呼ばれた。明治14年(1881)ここ芝公園20号地2000坪に、純日本風の会員制料亭東京芝・紅葉館が開業した。

紅葉館設立にあたって、野辺地尚義を幹事として、明治13年(1880)「芝公園内地字楓山地所拝借願」を東京府知事に提出し、翌年「貴顕紳士の集会共遊を旨とし、会員300名年会費10円」として開業した。その年早くも洋学者柳河春三の追遠会が福沢諭吉、新聞記者福地源一郎、農学者津田仙等で開催され、翌年にはE・S・モース(東京大学招聘教授、大森貝塚発見者)が同僚教授の送別晩餐会に出席している。明治18年(1885)には当時農商務省の官僚であった高橋是清の「特許に関する欧米視察」送別会に西郷従道農商務卿らが出席している。

青山ミツ子(後のクーデンホーフ光子)が、明治19年(1886)から明治23年(1890)、17歳になるまで女中として勤め、日本伝統文化の行儀

作法、お茶、お花、琴、三味線、和歌、絵画などの訓練を受け、これが一生を通じて大変役に立ったと後に述懐している。

国語学者大槻文彦が17年の歳月をかけて著した日本初の国語辞典「言海」の編纂刊行完成祝賀宴が明治24年(1891)に行われ、勝海舟、榎本武揚、陸羯南、高田早苗等が参会し、伊藤博文が「一昨年2月、念願の憲法を公布、去年秋には国会開設され新国家の

残る仕事は条約改正である。鹿鳴館を建て舞踏会を開いて欧化の宣伝につとめたこともあった。だが、まだなにもうまくいっていない。あれから数年、日本にもやっと欧米に誇れる国語辞書ができたが、こういうものの積み重ねこそその力であろう。もう鹿鳴館の時代ではない。諸君、余はもとより浅学寡聞、あえて諸君の清聴を汚すの当らざるを知るといえども、余が衷心に大槻君の『言海』

東京タワーの敷地にあった 幻の料亭 東京芝・ こうようかん 「紅葉館」



浮世絵に見る紅葉館の風景
出典:「東京名所図会 芝紅葉館」
絵師: 広重(歌川広重三代)
年代: 明治18年(1885)
版元: 丸山石版印刷(港区汐日人物データベースより)

式(出席1500名 来会2700名)
◎明治31年(1898) 日本美術院創立の宴(岡倉天心、横山大観)
◎明治33年(1900) 立憲政友会結党委員会(伊藤博文、西園寺公望、星亨)
◎明治40年(1907) 西園寺首相・文士交流会(雨声会)
◎明治45年(1912) 読売新聞主催 文芸家新年会(69名出席)
など、紅葉館はこのような公式の行

の大成を欣喜するの余り、みだりに朝野文学の大家に対し、ここに一言せんとするに至れり。余はつつしんで著者の勤勉、この大業成したることを謝し会衆諸君と共に一大光明を我文学に得たるを賀するために、いざさかここに蕪辞を述べたる次第なり」と祝詞を述べた。そのほか、

◎明治30年(1897) 自由党、自由倶楽部の懇親会。新自由党結党

事が開かれる会場で、祝賀会・挙式・晩餐会・招待会・歓迎会・懇親会・懇談会・政党大会後の大懇親会・結党式・慰労宴・披露宴・迎飲会・追悼会・創立記念会・時局座談会など大きな会は300人を超えることもしばしばであった。

ここに50人ほどの「給仕」とは、会席で飲食をもてなしたり、踊りを提供し座に興を添える従業員のことで、女学校の宿舍よりもっと真面目だといわれていた。当初は盛岡の人が多かったが後に京都の人が多くなった。また、紅葉館は外国人の間ではメープル・クラブの名で知られ、帝国ホテルも東京會館も洋食だったが、ここは関西風料理で日本情緒ある料亭として人気があった。

このように天下の料亭東京芝・紅葉館は明治、大正、昭和三代にわたり、近代史とともに歩んだ重要なスポットとして、政・財・官など各界人士が集った日本を代表するサロンであった。明治14年(1881)より昭和20年(1945)空襲で全焼するまで、65年間全国に文化を発信し続け、昭和35年(1960)日本電波塔(塔)と合併解散した。

(文 ■ 柴崎 賢一・柴崎 郁子)

◆参考文献:

1. 『料亭 東京芝・紅葉館 紅葉館を巡る人々』池野藤兵衛著 砂書房
2. 『東京築地居留地日誌』清水正雄著 冬青社

芝の 食文化

日本酒 SAKE

日本の酒のワンダーランド 日本の酒情報館

地下鉄虎ノ門駅近くに全国の酒造組合の総本部といえる日本酒造組合中央会が運営する「日本の酒情報館 SAKE PLAZA」があります。1階入り口のウィンドウには黒い半纏を着た人形たちが伝統的な日本酒造りの工程を案内しています。中に入ると全国の蔵元が薦める日本酒600種と本格焼酎・泡盛200種が並び、愛好家にはたまらない光景です。しかも2カ月ごとに商品を入れ替えるそうで、いったい日本の

常時800種のお酒が陳列されている棚は圧巻



酒の銘柄はどれほどあるのか想像を絶します。

お酒の他にも缶や猪口、グラス、徳利などの酒器類、インターネットで情報を知るパソコン、全国各地域と県の情報紙、お酒の知識が得られるパンフレット類が揃い、お酒に関するすべてが学べそうです。

試飲コーナーでは525円で5銘柄の利き酒ができます。展示替えるたびに利き酒を楽しまれる人も多いそうで、いろいろ試飲するうちに自分好みのお酒に出会える喜びがあるようです。

4階はお酒に関する蔵書が6,000冊におよぶライブラリーと、酒造組合や蔵元主催の試飲会、セミナーが催されるホールです。年4回行われる「女性のためのOsakeスクール」は日本酒好きの女性たちでにぎわい毎回好評とか。「女性の探究心、好奇心の旺盛さに驚かされます。友達の輪ができ『マイ猪口』を持って実際に蔵元めぐりをされるグループが生まれています」と、郷古純広報課長は日本酒ファンの広がりを感じていました。

日本酒を飲む風習は古代から神事と深く関わっていますが、その起源については未だ解明されていません。紀元前3世紀から紀元3世紀に大規模な集落があったとされる佐賀県の吉野ヶ里遺跡から甕や壺など酒造



お酒の知識や情報が得られる展示コーナー

りの道具が出土されていることから、当時すでに飲まれていたようです。平城京の時代になると朝廷が「管理し「酒造司」という制度ができました。

日本酒はアミノ酸が豊富で疾病予防、体力増進、抗酸化作用、生活習慣病予防、老化防止ほか効能がたくさんあり、まさに百薬の長なのです。ただしそれは適量を守ってのことです。調理時には魚の臭みを消して旨みを出し、炊飯に少し入れるとふつくと炊き上がる効果もあります。

情報館では新年の仕事始めの日と、同会が「日本酒の日」と定めた10月1日に、記念升に樽酒を振る舞うサービスを行っています。古代から伝わる伝統飲料であり、世界に誇れる日本酒をもっと愛で味わってほしいものです。

(文 ■ 千葉 みな子)

日本の酒情報館 SAKE PLAZA
西新橋1-1-21
TEL 03-3519-2091
●開館時間 10時～18時
●休館日 土・日・祝日・年末年始

しばのいえ にっき

「芝の家」 日記



吐く息も白く、寒い日が続きます。芝の家でちょっと一息、温かいお茶でも飲んでいませせんか。

■10月18日 いろはにほへつと芝まつり

芝の家一周年を記念して、小さな「おまつり」を開催しました。このおまつりは、芝の家が企画し、近隣にお住まいの方々、お勤めの皆さん、町会、老人会、子どもたち、ママやパパたち、学生たちの協力を得て手作りしました。

秋晴れの空のもと、芝の家が面している「いろは通り」の商店や軒先には焼きそばや綿あめ、駄菓子屋の屋台のほか、子どもネイルサロンなどが並び、メイン会場の芝の家では名人を招いての「ペーゴマ大会」、小学生が番組をつくるミニFM局「芝ん家Radio」、近所の子どもからお年寄りまでがアート作品を出品する「いろは芸術祭」が行われ、とても盛り上がりました。

この「おまつり」をきっかけに、ますます地域の方との距離が縮まったように思います。

■12月 持ち寄りクリスマスツリー

芝の家にクリスマスツリーがやってきました。しかもただのツリーではありません。近所の方が自宅の庭の樅の枝を分けてくださったものなので、生木なのです。電飾やオーナメントも、近所の方や芝の家の利用者の皆さんからいろいろとご提供いただき、とても立派なクリスマスツリーが完成しました。頂きもただで素敵なツリーが用意できたことに、スタッフ一同とても感激しました。



芝地区昭和の地域力再発見事業拠点「芝の家」
芝3-26-10
TEL 03-3453-0474

●月・火・木 11時～16時開室
水・金・土 13時～18時開室
●ウェブサイト: <http://www.shibanoie.net/>

●芝の家への手紙●
芝の家を利用しているお子さんの保護者の方から、励ましのお手紙をいただきました。ご紹介します。

この町に住んで20年近くになります。以前は、三田通りのマンションに住んでいました。都会のマンションはエレベーターの中で遭遇しても挨拶もしない人も少なくありません。子どもたちが小さいころ「こんにちは」でしよ」というのが口癖だった私は、ある日、子どもに聞かれました。「なぜ?僕は、「こんにちは」でしよって言われるのに大人はしないの?」。素直な当たりまえの質問でした。「子どもから元気にするものなのよ。かえしてくれない?」と誤魔化す気持ちと恥ずかしい気持ちで息子に言いました。そんな息子たちも恥ずかしいという気持ちを抱く年齢の6年生、4年生となりました。ここまで成長してしまうと、もう、私の監視下ではありません。日々、挨拶はできているのか、他人様に迷惑をかけてないか、気になってしかたありません。

約4年前に「芝の家」のすぐ裏に移り住みました。たった一本三田通りから入ったこの通りですが、ガラスと鉄骨も通います。大きな通りに住んでいた息子たちは、この「いろは通り」を暗くなってから歩くのをとても怖がりました。「この通りには、絶対、妖怪が住んでいるよ」と子どもの目からしたら明るい看板があるわけでもないこの通り、当然です。しかし、この道には毎日通る八百屋さんなど昔ながらのお店があります。お店に買い物へ行くとき「今日、弟くん泣きながら歩いてたわよー」なんて会話をします。他人、近所の方の目があるって、こんなに安心なんだ。私は、フルタイムで会社に勤めているためとても安心でありがたい情報です。そんな通りにも偶れてきたころ芝の家の縁側が出現しました。

昭和の家、それこそ!妖怪です!!「ママ!絶対妖怪だよ!」息子たちは何ができるのかドキドキしていました。妖怪ってお化けのよう人間の味方とキタロウに影響されているので、コフイけど見たい、会いたい、昭和を感じるたすまい、子どもたちは、やはり妖怪と確信していました。

ある日、「芝の家に行くって」と言われた時、何?それ?大丈夫?と正直不安になったのです。しかし、息子たちが私の不安をよそに当初は、週に3日か4日だったと思います。そして、ほぼ、お稽古が無い時は、必ず行くようになっていきました。

そのうち「ママ!今日はね、竹馬つったよ!ペーゴマやったよ!」と目をキラキラさせて話してくれました。「へえ、そんな貴重な体験ができるの? スゴイね、よかったね」。話を聞いているうちに、不安どころか安心になり、いつもお世話になっているので覗いてみました。小学生はもちろん学年を問わず…大人もご年配の方も集う場所、子どもたちは自分より小さい子と遊び面倒をみる。そして、子どもたちがお年寄りの方の上手なイラストに感動し目を輝かせ、知れば知るほど簡単に、経験できないステキな空間。核家族が多い現代では、本当に貴重です。

日々、芝の家の事を聞くのが楽しくなりました。何よりなのは、「ええ? ダイジョブ? ちょっと、暴走し過ぎ!」と興奮する子どもたちと楽しそうに遊んでくれる大学生の方々の笑顔でした。しかし、学校でもない芝の家、どこまで怒っていいのかわからないところが難しかった。保護者の権限として!興奮し何人が集まると暴走するので、怒るときは、怒ってくださいね。

本が読んだら、母親の私が「おかえりー」と家で待っているのが理想。しかし、会社から帰るのは6:00近く。とくに、長男6年生、思春期、反発期、難しい年齢です。子どもの世界と親は、どんどん離れて行ってしまいます。行動範囲も広くなり謎の時間が増えてしまう年齢です。全ては成長の過程。親として心配や不安、それを乗り越えて行く覚悟ですが、芝の家という誰もが気軽に集える空間に通う息子たち。私は、未だに子どもの世界にお邪魔することができるのです。

とてもありがたく安心して暮らせる街となりました。そして、芝の家での手伝いや片付けなど、必要とされる、頼られる!子どもにとっても嬉しい事です。ここは、お年寄りも子どもも皆、必要とされ、頼られるという特別な空間。日常では学べない貴重な経験ができる空間。皆様か息子たちに、与えてくれた気持ち、経験を大きくした息子たちも何時の日か何じよう、小さな子やお年寄りの方々に自然にかえす事ができるようになってくれたらと願います。

芝3丁目在住 母より

芝地区MAP

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめた。ウォーキングマップとしてご利用ください。

- 1 虎ノ門 金刀比羅宮
- 2 江戸見坂
- 3 瀬見坂
- 4 藍南坂
- 5 虎ノ門 琴平タワー
- 6 大橋茶寮
- 7 天徳寺
- 8 あめりか屋のあった場所
- 9 タミヤ プラモデル ファクトリー 新橋店
- 10 環2広報センター
- 11 芝公園
- 12 区立芝公園
- 13 三田
- 14 芝
- 15 赤羽橋駅
- 16 芝大門
- 17 区立芝公園
- 18 芝公園駅
- 19 芝公園

- 11 ハセガワフロリスト(長谷川グリーンビル) 4-5P
- 12 森永製菓 5P
- 13 オーストラリア大使館 5P
- 14 戸板女子短期大学 5P
- 15 紅葉館のあった場所(現東京タワー) 6P
- 16 日本の酒情報館 SAKE PLAZA 6P
- 17 芝地区昭和の地域力再発見事業拠点「芝の家」 7P
- 18 芝小学校 6P
- 19 愛宕警察署 6P

芝次郎の 園芸講座 バラの育て方

今回は、世界中で栽培されているおなじみの植物、バラの育て方をご紹介します。バラは新芽を育む今が大切な季節です。ていねいに世話をし、春にきれいな花を咲かせましょう。



鉢植えの場合

●置き場所 西日と冬の北風が避けられる場所で、日当たりの良い戸外に置きましょう。

●植え替え 少し大きめの鉢を用い、鉢底に防虫網を敷き、下の方に赤玉土を入れ、その上に培養土を敷きます。根はほぐさずに深植えにならないように植え、鉢土の表面が鉢のふちから2cmほど下になるように培養土を入れ、たっぷり水を与えます。

●水やり 鉢土の表面が乾いたら、鉢穴から水が出るまでたっぷり行くとよいでしょう。鉢皿にたまった水は、必ず捨ててください。



庭植えの場合

●植えつけ 日当たり、水はけがよく、腐植質に富み、風通しのよい所を好みます。じめじめした所の場合、深めに掘って赤玉土を入れたり、赤土の所では培養土を混ぜるとよいでしょう。根はほぐさず掘った穴に運動性肥料を入れ、圃土をかぶせた上に深植えにならないように植え、根元の周りを多少へこませてたっぷり水を与え、土をなじませます。土の表面に落ち葉などを敷くと、土の乾燥を防ぐことができます。

●水やり 根付くまでは2～3日に1回たっぷり水を与えます。それ以降は夏場以外、ほとんど灌水する必要はありません。夏場は、地表が乾いたらたっぷり水を与え、土をなじませます。

鉢植え・庭植え共通の手入れ

●肥料 多くの肥料を必要とするため、通常12月に寒肥を与え、その後4月、6月、9月に追肥します。

●病害虫対策 高温多湿的环境下では黒点病やうどん粉病などの病気が発生しやすいので、風通しのよい場所に置きます。アブラムシが発生した時は、水で薄めた洗剤をつけた軟らかいブラシでこすり取るとうよいでしょう。

●剪定 冬は、春の芽吹き前の2月中～下旬に、前年に伸びた枝の下の方にある、外側に向けた大きな芽の上で剪定します。春から夏の間は、花が咲いた直後に花に葉を2、3枚つけて茎を葉の上で切り取る、と花数が増えます。

芝小シンフォニックバンド ～宇宙飛行士若田光一さん歓迎式典～

4か月に及ぶ宇宙での任務を終え、昨年7月にスペースシャトルエンデバーで帰還した宇宙飛行士若田光一さんをはじめ、マーク・ポランスキー船長たち7人が、去る12月8日(火)芝五丁目にあるNEC本社ビルを報告のため訪れました。芝小学校4～6年生の100人を超える児童とNEC社員の皆さんが来訪を歓迎しました。



歓迎式典では、芝小学校の児童による芝小シンフォニックバンドが演奏を披露し、児童から宇宙飛行士の皆さんに花束の贈呈を行いました。

地球を飛び立ち、実際に宇宙で過ごした若田さんたちを目の前にして、子どもたちの目もきらきらと輝いていました。15分ほどの短い時間でしたが、宇宙飛行士の皆さんは手を振りながら、笑顔で会場を後にしました。

info
芝小学校
芝2-21-3

芝地区 まちづくり 組織の活動

芝地区総合支所管内には、「港区まちづくり条例」に基づくまちづくり協議会があります。平成20年5月に「環状2号線新橋地区環境・まちづくり協議会」として登録し、現在環状2号線が開通した後のまちづくりについて勉強会等を開催しています。

- ◎活動報告
- 開催日時：2月3日(水)
開催場所：生涯学習センター(ばるーん)
主な議題：
1. 環状2号線の広幅員歩道整備のための確認書について
 2. 環状2号線周辺まちづくり勉強会について
 3. URB都市機構の入会について

平成22年度 港区民交通傷害保険 加入のご案内

港区民交通傷害保険は、少額の保険料で加入でき、交通事故でケガをされたときに、入院や通院治療日数と通院治療期間に応じて、保険金をお支払いする保険制度です。

また、港区民交通傷害保険の加入者に限り、「自転車賠償責任プラン」も併せて募集します。自転車を運転中に相手にケガをさせてしまった場合等が対象となります。詳しくは各総合支所備え付けのパンフレットまたは区のホームページをご覧ください。

※自転車賠償責任プランのみ加入することはできません。

加入できる人
平成22年4月1日時点で港区に住所がある人
保険期間
平成22年4月1日午前0時～平成23年3月31日午後12時
加入方法
◎個人で加入される場合 各総合支所協働推進課地区政策係または区内金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、ゆうちょ銀行・郵便局)に備え付けてある加入申込書に記入のうえ、保険料を添えてお申し込みください。 ◎10人以上の団体で加入される場合 各総合支所協働推進課地区政策係で、団体加入申込書に記入のうえ、人数分の保険料を添えてお申し込みください。

加入申込期間
2月1日(月)～3月31日(水) ※金融機関での申し込みは3月25日(木)までです。 ※申込期間外の加入はできませんのでご注意ください。

コースの種類と保険料
次の6つのコースから1つのコースを選んでご加入ください。 ※複数のコースへの加入はできません。

コース	補償内容	年額保険料	最高保険金額
A	区民交通傷害Aコース	800円	150万円
B	区民交通傷害Bコース	1,400円	350万円
C	区民交通傷害Cコース	2,600円	600万円
AJ	区民交通傷害Aコース+自転車賠償プラン	1,100円	150万円(交通傷害)+1,000万円(自転車賠償)
BJ	区民交通傷害Bコース+自転車賠償プラン	1,700円	350万円(交通傷害)+1,000万円(自転車賠償)
CJ	区民交通傷害Cコース+自転車賠償プラン	2,900円	600万円(交通傷害)+1,000万円(自転車賠償)

幹事引受保険会社
(株)損害保険ジャパン東京公務開発部営業開発課 TEL 03-3349-6018 (SJO9-06571、平成22年1月4日作成)
●問い合わせ先● 芝地区総合支所協働推進課地区政策係 TEL 03-3578-3193

震災時の
徒歩帰宅のために

ログインIDを
配布しています。

自宅で
「帰宅支援マップ」
をつくきましょう!!

大地震などの広域災害の発生により電車やバスなどの公共交通機関がストップした場合、自宅まで帰るのが困難な人(帰宅困難者)は首都圏で650万人、港区内で47万人になると予想されています。公共交通機関が使えない以上、多くの方が徒歩での帰宅を余儀なくされます。その際には、より安全で効率的な帰宅ルートを選んでいく必要があります。

「帰宅支援マップ」は大規模地震が発生した場合の徒歩での帰宅ルートを示した一人ひとりのオリジナルの地図です。

今年1月18～20日の3日間、都営浅草線三田駅にて帰宅支援マップ作成イベントを開催し、約550人の方に参加して頂きました。3月31日までは、引き続き芝地区総合支所にて「帰宅支援マップ」作成に必要なログインIDを配布していますので、ぜひお越しください。

簡単なパソコン操作で作成できますので、この機会にぜひあなただけの帰宅支援マップを作成し、災害対策について考えてみてはいかがでしょうか。

- ご注意ください**
- 帰宅支援マップ作成には、インターネットが利用できるパソコン、およびプリンタが必要となります。
 - 出発地から目的地または経由地が直線距離で100km以上になる場合は、ルートの検索およびPDFファイルの作成ができません。

- ログインID配布期間 平成22年1月21日(木)～3月31日(水) 9時～17時
 - ログインID配布場所 芝地区総合支所 協働推進課 (港区芝公園1-5-25 区役所2階)
- ※参加費は無料です。予定数になり次第、配布終了となります。
※ログインIDを取得したら、専用サイトにログインして
<https://www.kitakumap.com/183476/>でマップを入手できます。

都税についてのお知らせ

点字で課税の内容をお知らせします

東京都主税局では、納税通知書の内容を点字でお知らせしています。

対象となる税目	固定資産税・都市計画税(23区内)、個人事業税、自動車税
お知らせする内容	税金の種類、納税義務者氏名、納税通知書番号、納期限、税額、問い合わせ先
申込方法	主税局総務部相談広報係(03-5388-2924)まで、住所・氏名・電話番号・税金の種類をご連絡ください。
申込期限	2月末までにお申込みをいただいた方には、平成22年度分から点字のお知らせを同封します。



主税局イメージキャラクター
タックス・タクちゃん

※なお、すでにご利用されている方は、改めてご連絡いただく必要はありません。

●問い合わせ先 主税局総務部総務課相談広報係 電話 03-5388-2924

「みなとコール」は 暮らしの疑問にお答えします!



区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽にお問い合わせください。
年中無休/午前7時～午後11時

※英語での対応もいたします。

ゴヨウ(は)ナーニ ミナト(コールです)

TEL 03-5472-3710
FAX 03-5777-8752

Eメール: info@minato.call-center.jp

警視庁犯罪被害者 ホットライン

被害者や家族の相談窓口です。

迷わずに
勇気を出して
相談してください



匿名でもOK 秘密厳守 お気軽に

TEL 03-3597-7830
FAX 03-3592-6840

愛宕警察署

芝地区地域情報誌・編集委員を 募集しています!



芝地区の話題を
発掘し、取材していただく
地域情報誌・編集委員(記者)
を募集します

- 【対象】 芝地区管内に在住、在勤、在学で取材に携わりたい人
- 【内容】 地域の話の収集、取材、写真撮影、原稿作成など(年間4回発行予定)1回の取材などで平日の昼夜間に2時間程度、発行予定ごとに平日夜間、1回編集会議への参加があります。
- 【申し込み】 氏名、住所(在勤、在学の方は所在地)、連絡先、在住・在勤・在学の区別を明記の上、下記の芝地区総合支所協働推進課まで、FAXまたは郵送で申し込みください。
- 【その他】 報酬等の支払いはありません。

★本誌の制作には以下の編集委員が参加しています。
伊藤泰子/岩崎秀領/大澤佳枝/日下部理絵/桑原庸嘉子/小知和千佳子/小林真紀子/佐藤剛志/柴崎郁子/柴崎賢一/千葉みな子/張簡光輝/森明
★今後の発行スケジュールは次の通りです。
H22.5.20発行(第15号)、H22.8.20発行(第16号)、
H22.11.20発行(第17号)、H23.2.20発行(第18号)

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設にて配布しています。

港区芝地区総合支所協働推進課

所在地：〒105-8511 東京都港区芝公園1丁目5番25号(港区役所2階)
TEL: 03-3578-3192 FAX: 03-3578-3180
ホームページ: <http://www.city.minato.tokyo.jp/sisyo/siba/>